

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

羽島市立堀津小学校

◆全国学力・学習状況調査とは

文部科学省が毎年4月に、全国の6年生と中学3年生を対象に実施している学力調査のことです。国語と算数における学習状況を把握し、授業改善に生かすことを目的としています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたので、堀津小学校の傾向についてお知らせします。今回の学力調査から、本校の6年生児童は、昨年度から理科や社会科を中心に自分の考えを伝え合い、交流することに繰り返し取り組んできた成果が表れているものの、基礎的な学力の定着については課題となる内容もありましたので、改善点等も含めてお知らせいたします。また、生活習慣や学習環境に関する意識調査の結果もまとめましたので、これからの生活にお役立てください。

◆学力に関する調査の結果から

I 国語

【身に付いている内容】

- ・全体的に「話すこと・聞くこと」「読むこと」についての学習内容は理解し、学力を身に付けています。
- ・「話すこと・聞くこと」に関しては、インタビューの進め方のねらいを読み取ったり、説明文中の図の効果について読み取ったりしながら、話の内容を捉えることができています。
- ・「読むこと」に関しては、文章の内容の大体や文章全体の構成を捉え、要旨を把握することができています。

【課題のある内容】

- ・「読むこと」「書くこと」に関して、目的に応じて文章や図表、図表やグラフなどの複数の資料から必要な情報を読み取り、条件に合わせて自分の考えが伝わるように工夫して書き表すことに課題が見られます。
- ・「言葉の使い方における事項」においては、文章の中で漢字を正しく使うことに課題が見られます。

→インタビューの会話の流れや質問者の意図を踏まえて答えられる力を付けるために、国語科における日頃の技能指導（聞き方・メモの取り方・質問内容や構成の工夫・切り替えし方・推敲の仕方等）を重視し、意図的に指導していきます。さらに、他者の立場に立って物事を考えることを大切にするために、仲間の発言とつなげて発言したり、明確な意図をもって反応したりすることを繰り返し指導していきます。

国語以外の算数や理科、社会などの学習でも、複数の資料から必要な情報や共通点を見付けたりしながら自分の考えをまとめられる時間を設け、指導していきます。

生活ノートの週末の振り返りページを活用して漢字や文章を書く機会を増やし、意味によって漢字を使い分けることを指導していくとともに、今後も「漢字かがやき名人テスト」などを行い、漢字を正しく使う指導をしていきます。

2 算数

【身に付いている内容】

- ・異分母の分数の加減法の計算を正しくすることができます。
- ・2つの辺がつくる角の大きさの意味を理解しています。

【課題のある内容】

- ・計算の仕方は理解できているものの、なぜそのような立式をし、そのような計算の仕方するのかを理解したうえで活用することに課題が見られます。特に、図形の意味や性質について正しく理解したうえで公式を使うなど、図形の基礎的な知識・技能に課題が見られます。
- ・測量など、体験を通して獲得する技能に課題が見られます。
- ・聞かれている条件に合うように順序良く計算したり、答えを導き出すためにどのように考えたのかを説明したりすることに課題が見られます。

→考え方や答えを導き出した過程（なぜそうするのか:理由、なぜそうすることができるのか:根拠）を常に問うことで、自分なりの考えをもち、その考えを説明できるようにしていきます。

テープ図、数直線図、線分図など、図を積極的に使うことで、具体的な数的イメージをもてるようにしていきます。立式をする際には、言葉の式に表し、なぜそのような式になるのか、式が表す数量は何かを問いながら学習していきます。

朝活「かがやきタイム」を使い、新しい学習に必要な基礎的な知識や技能を復習したうえで、次の学習に取り組むようにしていきます。特に、測量の体験活動や図形の定義の復習を重要視していきます。

3 理科

【身に付いている内容】

- ・実験結果からの気づきをもとに考えて結果を導いたり、問題を見出したりする力が身についています。
- ・「『地球』を柱とする領域」の大地や水についての基礎的な知識が身に付いています。

【課題のある内容】

- ・「『エネルギー』を柱とする領域」の電気や電池、磁石の性質についての基礎的な知識・技能に課題が見られます。
- ・全体的に基礎的な概念や知識を身に付け、それをもとにして新しい発想や実験方法を見出すことに課題が見られます。

→基礎的な知識・技能を高めるために、物体の性質や現象の規則性について丁寧に指導をしていきます。特に関わる単元においては、今までの学習を振り返る場面や復習の時間をもつようにしていきます。

授業では、現象から疑問をもち、追究する課題をつくることを今後も継続していきます。そして、実験方法を言語化して説明する時間を設けたり、実験結果を考察する場面を増やしたりしていきます。

◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が全国や岐阜県の割合を上回った設問】

○自分にかかわること

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・将来の夢や目標をもっている。

○学校生活にかかわること

- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・読書は好きです。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。
- ・タブレットを使って情報を整理したり、自分の考えや意見を分かりやすく伝えたりすることができる。

【当てはまる・どちらかといえば当てはまるの割合が全国や岐阜県の割合を下回り、課題だと考えられる設問】

○自分にかかわること

- ・自分にはよいところがある。

○学校生活にかかわること

- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思います。
- ・平日または休日の1日当たりの学習時間が少ない。

【今後に向けて】

保護者の皆様のおかげで、家庭で規則正しく健康的な生活をしている児童が多いです。保護者の皆様の支えもあり、将来の夢に向かって努力している児童も見られます。

学校生活では、いじめを許さず、自分の楽しみをもちながら過ごしています。また、タブレットを学習や委員会活動などに積極的に生かしながら活用することに自信をもっている児童が多くいます。

今後は、本校で大切にしている5つの非認知能力（自己肯定感・伝えあう力・粘り強さ・創造性・郷土を愛する心）を育てるために、児童の努力の過程やよさを認め励ましていくことを大切にしていきます。

また、志授業やふるさと学習などを通して、児童が様々な人と関わりながら、地域のよさ、自分のよさに気づき、堀津町を大切に思う気持ちを育んだり、自分自身に自信をもち、仲間や地域の方と率先して関わったりすることができるように、今後も引き続き指導していきます。

一人1台タブレット配付により、児童にとってタブレットは欠かせない学習道具の一つになっています。児童もタブレットで学習することのよさを実感していることが上記の調査で明らかになりました。学校でも、タブレットを安全に利用するための活用の仕方や、自分でコントロールする指導を繰り返し行っていきますので、家庭学習でもうまく活用できるよう、見届けをお願いします。

家庭学習においては、マイブラン学習を継続し、計画的に学習したり、必要な学習を選択したりする力を高めていきます。引き続き、ご家庭でも基本的な生活習慣を大切にしながら、お子さんの頑張りを認め、励ましていただきますようお願いいたします。